



平成18年 正月 上志津原町会

上志津原 たより

1月号・・・平成18年1月20日発行
 発行者・・・上志津原町会
 発行責任者・・・上志津原町会広報係
 印刷・・・花島印刷 043-461-5552

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます

町会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。日頃から町会運営に対するご理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は市街化調整区域内であり静かであった町内が規制緩和の名のもとに宅地造成が急増し（17年12月末現在3カ所68戸工事進行）俄に活気づき年末には早くも南中野地区に2家族の入居がありました。この他にも確認できている造成が2カ所計5箇所になり、さらに宅地造成は続くものと思われま。

町会は宅地造成を止めることも、転入者を拒むことも出来ません。寧ろ住宅が増えること、人口が増えることは上志津原町会の発展に繋がることで歓迎すべきことです。しかしながら、無秩序な造成工事により、近隣住民の生活権が脅かされないようにしていかなければなりません。そして何より大切なことは、転入してくる新住民を上志津原町会に融合していくことだと思います。

他にも、本年度（平成18年4月より）地縁組織（町会活動等）と佐倉市との関係も再構築し、制度の改正をすることが決まっています。これに伴い町会規約の一部改訂、班長の役割分担の変化等が考えられます。

内外とも問題の多い1年になりそうです。与えられた町会役員の期間は余すところ3ヶ月です。悔いを残さぬ様、精一杯頑張る所存ですので、今後共御協力の程よろしくお願い申し上げます。

町会長 中山亜茂

主な内容

- * 新年のご挨拶・中山町会長・・・P-1
- * 第8回定例班長会議・・・1
- * 第9回定例班長会議・・・1
- * 第10回定例班長会議・・・1
- * 新年会行われる・・・1
- * 上志津原旅行会楽しく行われる・・・P-2
- * 上志津原のホームページ・・・2
- * 防災訓練行われる・・・P-3
- * 防火の心得・・・3
- * 投稿箱より・・・P-4
- * 親の顔が見たい・・・4
- * 歳末助け合い募金御礼・・・4
- * 原トピア備品整理・物品無料配布・・・4
- * 編集後記・・・4
- * 編集後記・・・4

第八回定例班長会議

平成十七年度 11月5日 19:00～21:00

主な議題と討議内容

一、自治会館清掃及び会館内不用品整理の件
 11月6日の原トピアの清掃の件が話し合われ、不用品は、欲しい方に無料で引き取ってもらうことにした。

二、防災訓練について
 12月4日に行われる防災訓練について話し合われ、消防署の方に来てもらい、講話や消火器の使い方などの講習を受けることになった。

三、新年会の開催について
 新年会は1月15日（日）12時より行つ事を確認した。

四、平成17年度歳末助け合い募金について
 今年度より、各班長が各戸を回ることにになり、第4期町会費集金の折りに、募金活動も併せて行うことにした。

・・・以上

第九回定例班長会議

平成十七年度 12月3日 19:00～21:00

主な議題と討議内容

一、宅地開発に対応する専門委員会設置の件
 委員会名「原まちづくり委員会」仮称

・町会役員からは中山会長以下5名、町会役員以外から3名の8名で構成されている。宅地造成による新住民の急増に伴い、班の再編成などを考えていく組織です。

・前年度広報部長の松田さんが、新しく転入が決まった方達に配布する上志津原案内を作成してくれました。これは、不動産業者を通して新住民の皆さんに配布されます。

二、新栄台一部道路通行止めの件
 アパート建設に伴う道路（私道）の維持管理の為に通行止めにした。
 ・・・・以上

第十回定例班長会議

平成十七年度 1月7日 19:00～21:00

主な議題と討議内容

一、宅地造成進捗状況
 南中野の宅造地に新しく転入された方達から、町会長に連絡がきています。

二、定期総会に向けて
 平成17年度決算書・報告書及び平成18年度予算案作成に関する準備及総会の日取り検討本年度の決算書・報告書・来年度の予算案の作成の段取りと総会の日程が話し合われた。総会は4月2日にとりおこなわれることになった。

三、次期班長（平成18年度）定例会出席呼びかけについて
 2月4日・3月4日の班長会に来年度の班長に出席してもらうことにした。2月4日に来年度の役員の内拍を決めてもらい、3月4日に引き継ぎをすることにした。

・・・以上

新年会 華やかに行われる

1月15日（日）（正月より、はらトピアにおいて、上志津原町会恒例の新年会が行われた。

中山会長の挨拶で始まった新年会は、踊りや、クイズ大会、ビンゴ、抽選会など、内容も盛りだくさんで、楽しいひとときを過ごすことができました。

また、十組・鶴澤さんから景品の提供がありました。ありがとうございました。

紙面の都合で、今号には概要だけ載せました。3月号で新年会の特集記事を組みたいと思います。



紅葉の軽井沢 草津を満喫

上志津原旅行会案しく行われる

11月6日朝、原トピア前に旅仕度の人々が集まってきました。上志津原旅行会の旅立ちです。

午前8時出発。進行役の羽山晃さんが、同じ上志津原に住んでいても1年ぶりに会う方もいて、と述べる。車内は一気になごやかな雰囲気。会長の横溝純義さんが、お陰様で、いい旅行になりそうです。と挨拶。会計の山下三好さんがもろもろの寄付があつたことを披露してくださり、すっかりリッチな気分。今回の行き先は軽井沢と草津です。参加者は28名。

カラオケが始まりましたが、トップを切った方が少し調子をはずしてくださいました。お陰で車内はのっけから和気あいあいとなりました。上信越自動車道の左手に妙義山を望みながら山岳地帯を走るようになると、沿道はもつ紅葉です。



上志津原旅行会御一行様

軽井沢インターを降り、ドライブインで昼食。バスは軽井沢周辺の山道を周遊します。見事な紅葉のトンネルの中をバスが走ります。白糸の滝を見学。山中から染み出る水が岩肌を、広いパノラマ状にしたり落ちる、見事な景観です。午後3時過ぎ、草津温泉着。今夜のお泊りはホテル櫻井。このご時世にもかかわらず本日の宿泊客は90人といふきれいで、どこかいホテル。そして例えば私たち6人が泊まった部屋は扉を開けるとちよつとした中庭に石灯籠が。その奥に18畳と8畳間が続き、中庭の左手には6畳の奥の間が。という豪華版でした。

宴会の始まりに今年初めて参加された方々が紹介されました。その数は8名。いやはや、旅行会にとつても嬉しいことでした。と、いつわけて宴会は盛り上がりしました。最後は恒例、原らしく、全員で東京音頭を踊りました。

翌日は浅間酒造で買物、舞茸センターで見学。マイタケは健康にいいそうです。卯三郎けし館を見学。お昼は元祖田丸屋で水沢うどんを堪能しました。

つとんと天ぶらが揃う度に順次各テーブルから乾杯の声。最後に女性のひとときわ元気な、大きな乾杯の声が。あとでガイドさんが「聞こえてきましたよ。きつとつちのお客様だろう」と。

庵古堂で買物、あとは一路千葉へ。埼玉を通過する頃、後部座席の方で「ラスカーン」という乾杯の大きな声。最後まで楽しい一行でした。

上志津原を開拓するために入植された方々が親睦のために始められたこの旅行会。今は任意の団体ですが、もつ50回を越えるそうです。現在では上志津原の中にも旅行を楽しむさまざまなグループや会があります。上志津原の方なら誰でも入会できる上志津原老舗の旅行会、ということでした。

入会ご希望の方は会長の横溝純義さん 四八七 五三八九へご連絡ください。会費は月3,000円です。

(宮武孝吉・記)

上志津原のホームページ

昨年の6月号(328号)で「上志津原たよりがホームページになりました」と紹介しましたが、その後このホームページは、上志津原の町全体を紹介するホームページに発展しています。そのトップページの表題は『ようこそわが町「上志津原」へ』になり、従って「上志津原たより」はその中のサブページの一つになったわけです。

今日ほどの様なサブページが誕生したのか、その全容を紹介させていただきます。

一、フォトアルバム「上志津原散策」

案内のページから以下にリンクできます。

この町の概要 この町の生い立ち

ふれあいどおりの事 四季の風情

メインは、四季の風情で、ふれあいどおり界隈を中心にした春夏秋冬、この町の風物をふんだんに載せてあります。(この秋の「ふれあいどおりの銀杏」は左の写真のようについに見事でした。)

現在は次の6部門ですが、油絵や写真等「何でもありのギャラリー」にしたいと思っておりますので、作品のある方は是非倶楽部に寄せてください。

- 木目込み人形部門 絵てがみ部門
- 水彩画部門 デッサン部門
- パソコン絵画部門 その他部門(スライドショウの動画もあります)

三、町会のページ

上志津原町会の行事・イベントや町会団体の催し(双葉会30周年記念祝賀会の様子など)を、写真中心で紹介しています。

四、サークル紹介

上志津原の同好会・サークル、17団体をそれぞれ写真つきで紹介しています。何かやってみたい方はここから探してみても如何ですか？

五、そして上志津原たより

配布されている「上志津原たより」をベースにカラー化したもので、一昨年の6月号(322号)からこの1月号(331号)まで連続して掲載しています。カラーならではの装飾を加えたり、公開に向けて若干の内容変更がしてあります。昔の「原たより」も開いてみませんか？ 思い切つて大胆に再編集しましたので、見た目にも楽しくなっています。

サブページは以上ですが、読者が自由に参加できる「井戸端会議」コーナーもあります。読者がここに感想や意見を書き込むと、そのまま掲載されます。匿名自由です。是非ご意見を寄せてください。

尚、私達のホームページについて、嬉しいニュースが飛び込んできました。それはインターネット界の最大手、ヤフー(YAHOO)に無料で登録されたということです。有害なものでない限りお金を出せば登録されますが、無料で登録されるのは稀で5%程度の確立だそうです。ヤフーの審査で私達のホームページは「公共性が高く健全で有益」と判断されたようです。

これから更に楽しいページにしていきたいと思っております。ぜひ見て頂いて(URLは写真の上です)そして参加して頂いて、皆様と一緒に上志津原を盛り上げていきたいと願っています。

パソコン倶楽部代表 松田 肇

<http://www.geocities.jp/kamishizuhara/>



ニ、ギャラリー「上志津原」

この町の皆さんの趣味の作品を紹介しています。

消火器の使い方の訓練の様子です



12月4日(日)原下ピアで防災訓練が行われました。当日は酒々井消防署由志津出張所より、3名の講師の方がおいで下さり、火災についての講話や消火器の使い方の実演などをして下さいました。

防災訓練行われる



防火の心得



消防署の方による講話
みなさん真剣に聞き入っています。

火災の原因と予防の要点

一、たばこ

嫌煙活動が世の中にこれほど普及していても、タバコの火災はなくなることはありません。

寝たばこ

これは絶対にしない。横になっての動作は自由度が少なく、眠ってしまったら、慌てて動く事も出来ないのが危険です。



灰皿にはいつも水を

消したつもりでもくすぶった物が大きな火になることもあります。

歩きながらのたばこ

火種が何処に移るかわかりませんし、他の歩いている人に触れて火傷を負わせるなどの事故も考えられます。必ず喫煙場所で吸つて下さい。

二、火遊び

子供は良く分からず火を扱いますので危険である事を充分教えてください。火の正しい使い方を子供に教えることも火遊びを防ぐ事に繋がります。マツ

三、コンロ

ライターは子供の手の届く所には置かない。主に任せて遊び道具にします。花火は大人と一緒に。大人の管理の元で使う事で子供と共に火の扱いを覚えます。



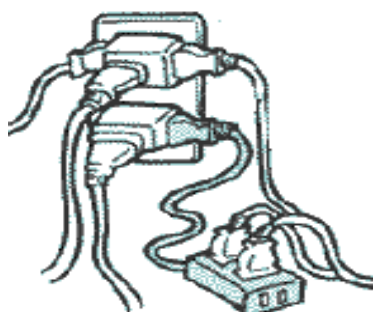
火をつけたままコンロのそばを離れない。コンロから離れる時は必ず火を消す。コンロと壁の間に十分なゆとりを。燃えやすい物や揮発性の高いものはコンロのそばに置かない。台所のコンロだけでなくカセットコンロなども随分あちこちで見られるようになりましたので、何処であつても注意は忘れないようにしましょう。

四、ストーブ

ストーブの周りは整理整頓を。給油は火を消して行う。外出、就寝前に、消火の確認をする。ストーブの前でのつた寝はしない。ガスストーブではガス臭いと思ったら必ず火を止めて原因を調べて見ましょう。ファンヒーターの熱風吹き出し口は塞がない。電気ストーブでも長時間そばに物があると発火に繋がります。ご注意ください。

五、コンセント

タコ足配線はしない。負荷が大きくなると熱を持ち発火します。コンセントのプラグにほこりをためない。コードは束ねたり、重いものをのせない。断線、漏電で火事になります。



六、放火

火災の原因で一番多いのは放火です。犯人を見つけることも方法ですが、

火災が起きてしまったら

一、早く知らせる

大きな声で、周囲に協力を求める。落ち着いて安全な場所から119番する。

二、早く消す

火災を大きくしないために、勇気と落ち着きをもって初期消火に努める。

三、早く逃げる

危険と思ったら、火だけでなく煙に注意し、姿勢を低くしてすぐに避難する。

四、火災通報

火災と救急・救助は119番

通報の際には、町名番地、名前、電話番号、近くで目印となる大きな建物を正しくお話ししてください。燃えているものや、けがの程度、人数も忘れず燃えている建物から早く逃げ、再び建物に戻らないようにしましょう。

・・・完

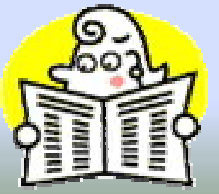
地震だ！
火を消せ！



これも
忘れないでね

読者の

コーナー



町内会の皆様の寄稿や作品のコーナーです。文章を寄せてくださった皆様 ありがとうございます。ごさいました。

投稿箱より

上志津原たより十一月号を読んで、運動会の残念記事と、読者コーナーの糸井さんの記事が心に残りました。運動会では年寄りなりに参加したいと思っていたからであり、糸井さんの記事では、そつだ、そつだ、の思いでした。

私は昭和四十二年に原の住民となり、春先の水口リ以外は大変住み心地のよい所と思っております。また、人間関係では色々の方のお世話になって、今の私があると思っております。今は年金暮らしの老人になり、皆様のお世話になっても、お世話が出来ない身分ではありません。

しかし思つことは、上志津原を大切にしたい。共有している人々とのふれあいは貴重な財産であり、順番に班長をする制度の下で負担を少なくするために必要なのは、町会行事の縮小ではなく、班長でない大多数の町会員が積極的に町会行事に参加し、お互いに感謝し合い協力すること・・・その通りであると思つています。

上志津原が何時までも、なごやかで、心温まる町会であり続ける事を祈ります。

八十二老生より

親の顔が見たい

「京成立石」から会社まで、バス通勤していた頃の話がよみます。

ある日途中のバス停「京成車庫」で一寸した騒ぎが

ございまして。バスの前方で子供の泣き声と、「どうするの!」と言つた怒声が何度も聞こえてきます。何かがあったようで、乗客の昇降は止まっているのに発車する気配がありません。

私は真ん中より後方にいましたが、子供の泣き声に気がなつて運転席近くに行つてみました。するとそこには中学生と思しき女の子がワーワー泣いています。それでも付近の乗客は、「我関せず」を決め込んで、皆さんの視線は窓の外です。



どうやらこの女の子、今日が高校入試の日で受験校に行くためにバスに乗つたようですが、「財布を忘れて料金が払えない」「家まで取り戻つては受験に間に合わない」「運転手にはどうするの!」とせかされるので、完全にパニック状態だったのでございまして。

「何だ!そんなことが。そんならこれで良いだろう?」と、私は自分の回数券(全線150円)を入れながら、運転手を睨みつけました。心の中で150円位「後で払ってください」で済むことだろうが、と思つたからです。

すると運転手、女の子に向かって、「この先はどうするの!」 エッ!まだ先があるの?」

そつななんです。泣き叫んでいてまともな受け答えも出来ませんが、受験校は終点の新小岩からもう一つバスに乗るらしいのです。それで運転手がガミガミ言つていた訳です。

「なる程そつなつ事か、解つた!」私は千円札に名刺を添えて、「これで足りるか?」と言つて女の子に差し出しました。コックリした女の子、それを受け取るとやつと泣き止んだのです。私の方が先に降りました。が、頬つべたの涙の跡がとも印象的でございまして。

あの時は何も考えずにやつた事でございしますが、「良い事をしたため」とはばらしくは良い心持でございまして。それに名刺の会社にお金を返してくるのは当然として、彼女にとっては「地獄に仏」だった筈ですから、お金にはお札の手紙くらいは添えてくるだろうと思つていました。小×川高校と言つていましたが優秀な

学校だそつです。どんな手紙が添えられて来るのか、ひよつとしたらお母さんと一緒に会社を訪ねてくるかも知れない・・・中年おじさんに密かな楽しみが出来たのでございまして・・・

とつころがです。一週間経つても二週間経つても・・・そつななんですよ。それつきり〜それつきり〜それつきり〜ですかあ〜になつてしまつたのでございましてよ・・・

「この事はすっかり忘れていましたが先日新聞の高校入試一覧が目にとまり、フト思い出してしまつたのでございまして。そしてムラムラと湧いてきたものがありました・・・それは、女の子がその後どうなつたか知りたいと言つたことと、一度でいいから「親の顔が見たい」でございまして。

・・・原の黙鼓子

原の皆様 はらトピアの

玄関横にあるこの投稿箱に、

原たより 投稿箱

「投稿よりしくお願ひします。」

歳末助け合い募金御礼

昨年の暮は、歳末助け合い募金に御協力ありがとうございました。班長一同、心より御礼申し上げます。

善意の合計は14万6472円にもなりました。本当にありがとうございました。



はらトピア備品整理

物品無料配布行われる

昨年11月6日、はらトピアの清掃と備品整理が行われました。それに伴い、使用しなくなった物や、長年在庫として置いてきた物の無料配布が11月20日に行われました。はらトピアにあった、本や机・イスなどが無料配布の対象となり、当日はたくさんの方が来てくれました。おかげで、はらトピア内がだいぶすっきりしたようです。

皆様御協力有り難うございました。

(左は物品配布の様子)



編集後記

原の皆様、あけましておめでとございまして。今号は1月号といつこと、新年の挨拶が時期遅れにならないよう、編集を急いだのですが、皆様のお手元に届いたのは1月の20日過ぎでしようか・・・。多少時期遅れの感はぬくえませんが、ご容赦願ひたいと思つています。

さて、私たち広報係の任期も、残すところあと三ヶ月足らず、広報誌の編集も3月号を残すのみとなりました。最後まで、より良い、皆様に親しまれる広報誌を目指して、広報係一同頑張つてまいりますので、ご支援の程よろしくお願ひします。また、「意見」・「要望」等も寄せていただければ、幸いです。

(広報係一回)